

# まちづくり交付金 事後評価シート

さかた  
坂田地区

平成21年12月

埼玉県 桶川市



様式2-1 評価結果のまとめ

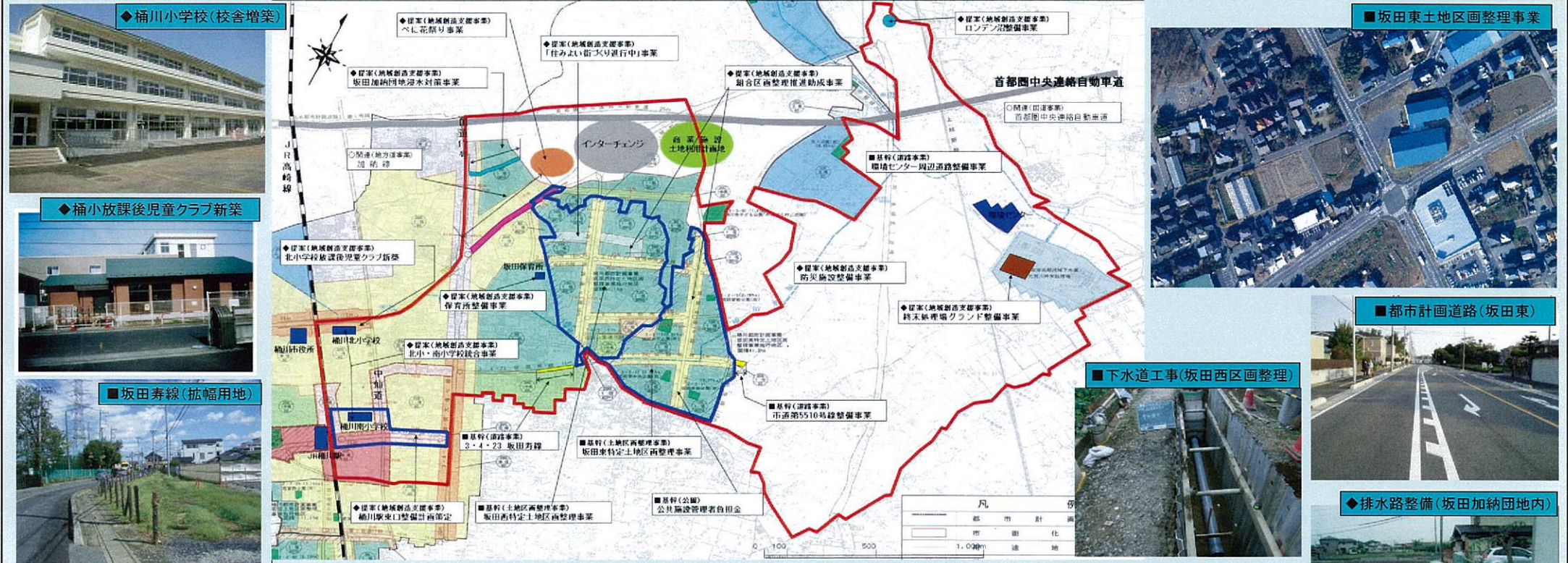
都道府県名	埼玉県	市町村名	桶川市	地区名	坂田地区			面積	580ha			
交付期間	平成17～21年度	事後評価実施時期	平成21年12月	交付対象事業費	2,810百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 ◆公園…①2・2・11坂田原南公園 ◆土地区画整理事業…②坂田東特定土地区画整理事業 ③坂田西特定土地区画整理事業 ◆地域創造事業 …①「住みよい街づくり進行中」事業 ◆まちづくり活動推進事業…②ふるさと公園創造事業									
	当初計画から削除した事業		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	新たに追加した事業		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	交付期間の変更		当初 変更		平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					
			当初 変更		—		—					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	地区内事故件数	件	69	H16	32	H21	94	△	あり なし ●	道路の新設・拡幅等の整備が進み、交通事故の発生件数(実数)は、削減された(その他指標1)。	H23年3月
	指標2	緊急車両の通行可能路線	本(%)	105本(69.1%)	H16	116本(76.3%)	H21	117本(77.0%)	○	あり なし	土地区画整理事業の進捗により、6m以上の道路が整備された。	
	指標3	地区内人口	人	35,360	H16	41,200	H21	38,000	△	あり なし ●	新市街地の整備は、人口減少の歯止めに貢献している。	H23年3月
	指標4									あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	交通事故発生件数(地区全域の実数)	件	121	H16			104		道路の新設・拡幅改良等の整備を実施した結果、事故発生件数が減少した。		
	その他の数値指標2	人口(区域限定)	人	5,557	H16			6,230		土地区画整理事業の進捗による新規住宅用地の創出と、住み良い環境整備が、人口増加に貢献した。		
3)その他の数値指標3	その他の数値指標3	新規住宅着工件数(区域限定)	件	43	H16			46		土地区画整理事業の進捗により、新規住宅用地が創出された。		
4)定性的な効果発現状況	<p>◆道路や排水対策などの整備を実施したことにより、住民の生活環境の改善が図られ、また交通事故・渋滞、豪雨時の道路冠水など生活における住民の不安が軽減された。</p> <p>◆小学校や保育所の整備を実施したことにより、教育環境の改善が図られ、児童や住民の満足度が上がった。また体育施設の整備により、健康増進の機会が増加した。</p> <p>◆道路の改良整備において側溝を敷設することにより、雨水排水経路が確保され、道路冠水を防ぎ、また生活雑排水の放流先が確保されることにより、衛生面など生活環境が向上した。</p> <p>◆アクセス道路の整備により、目的地へ安全に早く通行・到達できるようになった。</p> <p>◆都市計画道路の整備及びネットワークが整備され、民間の路線バスが、整備地域内を運行するコースを増設し、近隣住民の利便性が向上した。また、新規住民の人口増に貢献した。</p> <p>◆土地区画整理事業地内に、スーパー等の商業施設が進出(新規、他地区から移転)した。</p>											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況								今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	<p>都中再生整備計画 記載はなかったが、実施した</p> <p>都中再生整備計画 記載はなかったが、実施できなかった</p> <p>都中再生整備計画 記載はなかったが、実施できなかった</p> <p>都中再生整備計画 記載はなかったが、実施できなかった</p> <p>都中再生整備計画 記載はなかったが、実施できなかった</p> <p>都中再生整備計画 記載はなかったが、実施できなかった</p> <p>都中再生整備計画 記載はなかったが、実施できなかった</p>									
	住民参加プロセス	なし										
	持続的なまちづくり体制の構築	なし										



## 様式2-2 地区の概要

### 坂田地区(埼玉県桶川市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：住宅・産業・自然・文化がバランスよく調和した緑と水・文化の香り高い田園都市の創造 目標1：首都圏中央連絡自動車道のインターチェンジへのアクセス道路と市内完成道路を整備し、道路のネットワーク化を図ることによる交通渋滞の解消、歩車道の整備による歩行者や自転車等の安全確保。 目標2：防災生活圏を構成する生活幹線道路の整備による安全なまちづくり。 目標3：生活環境の充実と「べに花」を核としたふるさとづくりを生かした地区内人口増加。		地区内事故件数	単位：件	69	H16	32	H21	94	H21
		緊急車両の通行可能路線	単位：本(%)	105本(69.1%)	H16	116本(76.3%)	H21	117本(77.0%)	H21
		地区内人口	単位：人	35,360	H16	41,200	H21	38,240	H21



まちの課題の変化 ◆ 防災上、支障のある狭隘道路については、土地区画整理事業の進捗により、部分的に解消された。  
 ◆ 新市街地の基盤整備を重点的に実施した結果、数値目標には達しなかったが、既成市街地や調整区域における人口減少を補う人口の増加を図ることができた。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む) ◆ 緊急車両の通行に支障がある狭隘道路の整備について、土地区画整理事業において、継続的に実施する。  
 ◆ IC周辺の道路整備や幹線道路を新設・改良し、道路網を整備し、渋滞解消、事故の防止、住宅地への車両の進入を 방지、住民の安全を確保する。  
 ◆ 拡幅・新規等の整備により、道路や交通事情に変化が生じており、交通事故防止のため、現状に合わせた住民の交通安全意識の向上を図る。